

～ピピオからのお知らせ掲示板～

・本年度もたくさんの方々からご寄付を頂いております

本年度も、たくさんの方々から当法人への御寄附を頂きありがとうございます。

西谷辰子様、佐々木廣子様、矢川めぐみ様、佐藤邦男様、高橋美代加様、山下博三様、伏田緑様、井上勝将様、津川典子様、松崎文子様、日本アムウェイ合同会社様、公益財団法人SBI子ども希望財団様、国際ソロプチミスト広島-もみじ様、安芸コスモスソントクラブ、更生保護法人広島県更生保護協会様、社会福祉法人広島県共同募金会様、公益財団法人マツダ財団様など

・生活用品の募集をしています

NPO法人ピピオ子どもセンターでは、ピピオの家から巣立つ子どもたちへの生活用品（家具家電含む）等の提供を行っています。皆様のお手元にあります、使われていない生活用品等をご提供頂ければ幸いです。

平成24年12月末日時点の会員数

正会員（個人）	92名
正会員（団体）	5団体
賛助会員（個人）	57名
賛助会員（団体）	2団体

発行者 特定非営利活動法人ピピオ子どもセンター 事務局
〒730-0005 広島市中区西白島町16番1号NIDIビル202 那須法律事務所内
TEL : 082-221-9563 FAX : 082-299-7629

ひなぼと



～NPO法人ピピオ子どもセンター 会報～
vol. 8

平成25年1月30日

JaSPCAN高知りょうま大会に参加しました

新年明けましておめでとうございます。

ピピオ子どもセンターでは、昨年、12月7日・8日、高知で開催された日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）第18回学術大会（高知りょうま大会）に、理事3名、事務局担当弁護士4名、ボランティアスタッフ2名で参加してきました。また、前日、6日には同じく高知で開催された、子どもシェルター全国ネットワーク会議合宿にも理事と事務局担当弁護士が参加してきました。

子どもシェルター全国ネットワーク会議合宿は、昨年度から実施されることとなった会議合宿で、全国の子どものシェルター運営団体が集合し、現状や課題点について報告し、対応策等について協議しています。今年度は、全国7つのシェルター（シェルター類似施設を含む）運営団体が参加し、現在の運営上の問題点について協議し、情報を共有し、問題解決に向けて共に取り組んでいくことが確認されました。また、札幌、和歌山、千葉、高知、大阪など、シェルター設置について検討や準備を進めている地域の参加者からも状況報告がされ、益々シェルターの輪が大きく広がっていると感じました。

JaSPCAN高知りょうま大会では、1日目冒頭に政府や警察から現在の子ども虐待に対する認知件数や取り組み状況などについて報告があり、基調報告、特別講演、各シンポジウムが開催されました。2日目には、子どもシェルター全国ネットワーク会議として分科会を開催し、ピピオ子どもセンターが分科会の取りまとめ役でしたので、鶴野理事長が司会進行を務めました。分科会は盛況で、用意されていた座席が足りなくなる状況で、シェルターが果たす役割への社会の関心が高まっていることが分かりました。

JaSPCAN高知りょうま大会に参加し、全国で大勢の方が子どもの問題に真剣に取り組んでいることを感じ、改めて子ども達への充実した支援の必要を行っていく決意をした3日間でした。



（パネル展示の様子）

会員の皆様へのご挨拶～第8回～那須 寛

ピピオの家にはこれまでに20人の子どもが入居し、18人の子どもが巣立っていきました。親から暴力を受けた子、食事を食べさせてもらえない子、働いたお金を親にとられ続けていた子、そのような過酷な環境下にいた子どもがピピオの家に入居しています。

入居した子どもには一人ずつ専属の担当弁護士が付き、保護者との対応、退去先の確保といった環境調整をしています。その結果家庭に戻れる子どもはいますが、半数に満たず、働きながら一人暮らしを始める子どもも多いです。10代半ばの子どもが誰からの助けも受けず一人で生活していくことは困難が多く、子どもシェルターを出た後の子どもの行き場が充実して欲しいと願っています。

最近では退去した子どもから近況を聞く機会も増えてきました。仕事や進学につまずきながらも頑張っている様子に励まされています。そして、何より嬉しいのは「ピピオの家のご飯がおいしかった」という言葉です。食事がおいしく感じるのは、ピピオの家で安心して生活できていたからだと思うからです。

これからも傷ついた子どもが安心して羽を休め、自ら歩み始めるきっかけとなる場所でありたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

NPO法人ピピオ子どもセンター
理事 那須 寛

～ピピオを巣立った子どもたちの声～

これまでにピピオを巣立った子どもたちの声を紹介しています。

今回は、昨年10月下旬に巣立ったSさん（女の子）の感想です。

「毎日献立考えてくれて、おいしいご飯を作ってくれたり、DVD見せてくれたり、できるだけ過ごしやすいようにしてくれて、いっぱいワガママ聞いてくれてありがとう」

「ピピオの皆さんのおかげで、ピピオにいた3か月は、すごく楽しくて濃い時間でした。ピピオの皆様、大好きです。」

共同募金・社会課題解決プロジェクトに参加しています！

ピピオ子どもセンターは、今年度も広島県共同募金会が実施している社会課題解決プロジェクトに参加しています。同封しております郵便局の振込用紙を利用して、広島県共同募金会に募金して頂くと、募金して頂いた金額に応じて、マッチングギフトという広島県共同募金会からの助成金も加算された金額が、後日、ピピオ子どもセンターに広島県共同募金会を通じて交付されます。実施期間は、平成25年1月から3月末までです。

広島県共同募金会の社会課題解決プロジェクトの詳細については、広島県共同募金会のホームページ (<http://www5.ocn.ne.jp/~kyobo34/>) をご参照ください。

このプロジェクトにより募金して頂いたお金は、「ピピオの家」の運営費としてあてさせて頂く予定となっています。「ピピオの家」の運営については、これまでもたくさんのご支援を頂いておりますが、今年は、さらに男子用の自立援助ホーム開設に向けて具体的な動きも始まってきており、女子用の自立援助ホームの開設も検討されています。今後、ピピオ子どもセンターを、子ども達に寄り添う理念のもとで居場所がない子ども達の避難場所だけでなく、そこから自立をするまでの子ども達を支える総合的な組織として、運営していきたいと考えています。今後も、皆様のご協力をお願いします。

≡スタッフ通信 第1回≡

「ピピオの家」スタッフのNです。

昨年12月24日のクリスマスイブ、ピピオの家でクリスマス会が開催されました。弁護士の先生方、ボランティアさんの参加があり、入所児童と共に楽しい時間を過ごさせて頂きました。

クリスマス会の開催の為、数日前より飾りを作り、当日は部屋の飾り付け、食事やクリスマスケーキ作りと大忙しでしたが、入所児童のHさんの活躍が至る所で発揮されました。特にケーキ作りに興味を示してくれ、一緒に土台となるスポンジ作りから取り組み、デコレーション迄してくれました。クリスマス会を盛り上げようと積極的に動いてくれた彼女に対し、沢山の方が褒めて下さり、幾つもの笑顔が見られました。とても嬉しかったようです。

美味しい食事を囲み、楽しく談笑したクリスマス会は、あっという間に時間が経ってしまいました。夜にはサンタさんからプレゼントも届き、思い出に残る一日となったに違いありません。

今年のクリスマス会は事前に声掛けをし、より多くの皆様方に御参加頂ける様計画していこうと思っておりますので、ご協力頂ける方は、宜しくお願ひ致します。